

科目名	卒業研究ゼミ1（卒業必修）				
授業形態	演習	学年	1		
開講時期	2022年度 後期	単位数	1		
担当教員	木谷 耕平				
内容および計画	<p>このゼミでは、問いを設定し、仮説を立て、検証し、考察するという研究の一連の流れを学ぶことを目指す。研究の流れに沿ってグループとして研究プロジェクトに取り組むことで、研究の仕方だけでなく、チームワークやプロジェクト運営能力も養う。</p> <p>ゼミの前半では、経済学の基礎や研究方法についての文献を輪読する。各回の担当者を決め、その担当者が発表し、それに基づいて全体で議論する。後半では自分たちで研究プロジェクトを立案し、実施する。研究のテーマはゼミ生全員で議論して決定する。分析の枠組みには経済学の考え方をを用いるが、経済成長やインフレなどのいわゆる「経済学らしい」テーマに限るものではない。ゼミ生の関心を尊重し、テーマを決める。</p>				
1	イントロダクション：ゼミの進め方について				
2	テキストに基づく発表とディスカッション①				
3	テキストに基づく発表とディスカッション②				
4	テキストに基づく発表とディスカッション③				
5	テキストに基づく発表とディスカッション④				
6	テキストに基づく発表とディスカッション⑤				
7	テキストに基づく発表とディスカッション⑥				
8	研究プロジェクト①：研究テーマの決定				
9	研究プロジェクト②：文献調査の方法				
10	研究プロジェクト③：先行研究の整理・確認				
11	研究プロジェクト④：調査・研究				
12	研究プロジェクト⑤：調査・研究				
13	研究プロジェクト⑥：研究結果の分析・考察				
14	研究プロジェクト⑦：研究結果の分析・考察				
15	研究プロジェクト⑧：研究結果の報告				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
特定の教科書は指定しない。					
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 桑田てるみ 『学生のレポート・論文作成トレーニング 改訂版』 実教出版社、2015年 ・ 中室牧子 『「学力」の経済学』 ディスカヴァー・トゥエンティワン、2015年 ・ スティーヴン・D・レヴィット、スティーヴン・J・ダブナー 『ヤバい経済学（増補改訂版）』 東洋経済新報社、2007年 ・ スティーヴン・D・レヴィット、スティーヴン・J・ダブナー 『0ベース思考』 ダイヤモンド社、2015年 				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
	ゼミ内での発表・議論への参加				40
	研究プロジェクトへの貢献度				40

課題（長期休暇中の課題を含む）	20
学習到達目標	以下の3点を到達目標とする。 ① 研究の一連の流れを習得し、研究プロジェクトを立案できる。 ② 経済学を使って現実の課題を論理的に分析し、その解決方法を示すことができる。 ③ チームで協調し、プロジェクトを円滑に実施することができる。
先修条件	マクロ経済学基礎を履修中であること。
実務経験	
その他	特別な事情のない欠席や遅刻は厳禁。